

千葉大学工学部連携講座：

## 「セラミックスを通して学ぶ原子の結びつき」を実施しました

実施日：令和3年8月29日(日)

高校1年次生を対象（参加生徒：普通科3名，理数科 5名）として原子の構造から化学結合について、学校の授業で実際に使用している教科書および資料集を利用しながら、千葉大学大学院工学研究院（共生応用化学コース）の小島 隆准教授から講義を受けることで、一歩深く学び高等学校での授業の理解を深めた。

セラミックとは、一般的には古くから「焼き物」としても知られており、陶磁器・セメント・ガラスなどとして深く関わっている。

昨年度から、午前中に受講した後、午後は生徒一人一人が、観察したいと考えている身の回りの試料を、走査型電子顕微鏡を操作して観察しミクロの世界を楽しみつつ、結晶構造描画ソフト（VESTA）を用いて高等学校で学ぶ結晶構造だけでなく、大学で学ぶ結晶学の導入の講義を受講した。

受講した生徒からは、「午前中の講義は学校での日常の授業に比べとても難しく感じたが、興味深く受講することができた。午後の電子顕微鏡を操作しての実習は、とても楽しい時間を過ごすことができ、ミクロの世界に興奮し、結晶構造描画ソフトでは、化学への興味を深められ、さらに、TAの学生から大学での生活について話を伺うことができ今後の目標をもつことができた。」と感想があった。



講座実施風景写真